

事前に備えるべき目標		2 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること	
	リスクシナリオ		
	2－7 被災地における疫病・感染症等の大規模発生		
	※人命に直接的・重大な影響を及ぼすリスクシナリオ		
	現在の取組・施策		脆弱性評価
	【感染症対策】		
	＜避難所における衛生環境の維持＞ 避難所における衛生的で良好な生活環境を確保するためには、水、食料、トイレ、暖房等が必要であり、県では、市町村の避難所運営に必要な資機材の備蓄を進めている。		避難所における衛生的で良好な生活環境を確保するため、水、食料、トイレ、暖房等の物資等について、備蓄の他、スーパー、メーカー等と協定を締結しており、引き続き協力・連携する体制を構築する必要がある。
	＜感染症への意識向上及び対応策の整備＞ 災害発生時における感染症の発生に迅速な対応ができるよう、平時から、対応マニュアルを策定するとともに、コロナウイルス感染拡大を前提とした避難所受入訓練を実施している。		今後も引き続き、災害時における感染症等への意識向上を図る必要があるほか、感染症等に意識を置き、感染症を意識した訓練の実施を検討・実施していく必要がある。
	＜予防接種の促進＞ 災害発生時における感染症の発生やまん延を防止するため、平時から予防接種を受けるよう、県と連動し、普及啓発を行っている。		予防接種率の低い市町村は、災害発生時に感染症の発生やまん延の可能性が高いことから、平時から予防接種をするよう普及啓発を図るとともに未接種者に対する接種勧奨を行う必要がある。
	【下水道施設の機能確保】		
＜下水道施設の耐震化・老朽化・耐水化対策＞ 災害発生時において、公衆衛生を確保するため、ストックマネジメント計画に基づき下水道施設の耐震化・老朽化対策の改築更新を実施している。		下水道施設のストックマネジメント計画の見直しを行い、下水道施設の耐震化・老朽化を進めていく必要がある。	
＜農業集落排水施設の耐震化・老朽化対策＞ 災害発生時において、農村地域における公衆衛生を確保するため、農業集落排水施設の耐震化や老朽化対策に取り組んでいる。		災害時における農村地域の公衆衛生の確保のため、長寿命化計画（最適整備構想）を策定し、耐震化や老朽化対策を進めていく必要性がある。	
＜下水道事業の業務継続計画の策定＞ 災害発生時の汚水処理機能の維持又は被災した場合の速やかな回復のため、対応体制や非常時対応計画を定めた業務継続計画を策定している。		災害発生時においては、人・物等利用できる資源の制限を考慮する必要があることから、被害想定に基づく機能確保までの具体的な行動計画（初動対応や事前対策）等の必要な事項を網羅した業務継続計画を策定する必要がある。	

リスクシナリオを回避するための対応方策の概要 被災地における疫病・感染症等の大規模発生を防ぐため、避難所における良好な生活環境の確保や平時における予防接種等を推進するとともに、下水道施設の機能確保を図る。			
重点	対応方策 (今後必要となる取組・施策)	取組主体	重要業績評価指標 (参考値)
	災害発生時において、避難所における衛生的で良好な生活環境が確保できるよう、災害時の物資の調達に関する協定の締結を推進するとともに、県内全市町村や他都道府県からの応受援体制を強化する必要がある。 また、県と連携し、備蓄目標、役割分担等の在り方について検討し、推進する。	市 県	
	今後も引き続き、県や関係機関と連携しながら、災害時における感染症について、普及啓発していくほか、感染症等に意識を置き、感染症を意識した訓練の検討・実施をしていく必要がある。	市	避難所運営マニュアル 感染症対策編作成【R2】
	県と連携しながら、感染症やまん延防止のための普及啓発をする必要がある。	市 県	
	災害発生時の污水处理機能確保に向けて、市管理の下水道施設についてストックマネジメント計画の見直しを行い、耐震化・老朽化を進めていく。	市	
	災害発生時における農村地域の公衆衛生確保のため、長寿命化計画（最適整備構想）を策定し、耐震化や老朽化対策を進めていく。	市	
	災害発生時における污水处理機能の維持と被災施設の速やかな回復が図られるよう、下水道事業の業務継続計画の内容を見直す。	市	